その1

地球温暖化対策結果報告書

1　地球温暖化対策事業者等の概要

（1）　地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名（法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名）	株式会社ニッピ　代表取締役社長　伊藤　隆男
地球温暖化対策事業者等の住所（法人にあっては主たる事務所の所在地）	東京都足立区千住緑町1-1-1

（2）　事業所の概要

事業所の名称			株式会社　ニッピ　東京工場
事業所の所在地			東京都足立区千住緑町1-1-1
業種等	事業の業　種	分類番号	F21　F：製造業　なめし革・同製品・毛皮製造業
		産業分類名	なめし革・同製品・毛皮製造業
	事業所の種類	主たる用途	※部門分類　◉産業　○業務
			◉工場　○熱供給施設　○上水道・下水道施設　○廃棄物処理施設
			○事務所　○商業施設　○宿泊施設　○教育施設
			○医療施設　○文化施設
			○その他　（　　）
		建物の使用形態	□テナントビル等に該当
事業の概要			なめし革・同製品製造業
主なテナント事業者等の概要（テナントビル等の場合に記載）			(1)　テナント事業者等の名称
			(2)　テナント事業者等の名称
			(3)　テナント事業者等の名称
敷地面積			94,191　㎡
建物の延べ面積			53,115　㎡

（3）　担当部署

計画の担当部署	名称		施設課
	連絡先	電話番号	03-3888-5110
		ファクシミリ番号	03-3888-3785
		電子メールアドレス	
公表の担当部署	名称		総務部
	連絡先	電話番号	03-3888-6651
		ファクシミリ番号	03-3888-5175
		電子メールアドレス	

その2

(4)地球温暖化対策結果報告書の公表方法

公表期間	平成19年11月5日 ～ 平成20年6月5日	
公表方法	☑ ホームページで公表	アドレス: http://www.nippi-inc.co.jp/houkoku
	☐ 窓口で閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間:
	☐ 冊子	冊子名:
		入手方法:
	☐ その他	

2 計画期間

18	年度 ～	18	年度

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1)計画期間の最終年度の温室効果ガスの総排出量　単位:t(二酸化炭素換算)

CO_2	CH_4	N_2O	HFC	PFC	SF_6	合計
2,866						2,866

(2)基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの総排出量の推移　単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	3,648	2,866				
基準排出量比増減率		21%				

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1)温室効果ガスの排出の量　(計画終了年度: 18 年度)

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量　単位:t(二酸化炭素換算)

CO_2	CH_4	N_2O	HFC	PFC	SF_6	合計
2,822						2,822

イ 計画期間の最終年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等
(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	53.1	kg/㎡・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	1,180	MJ/㎡・年

ウ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移　単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	3,585	2,822				
基準排出量比増減率		21%				

(2)温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施状況(実施の有無)	基本対策	○すべて完了 ◉一部完了 ○未実施 ○計画なし
	目標対策	◉すべて完了 ○一部完了 ○未実施 ○計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	18 t-CO_2
	推計実績削減率(目標対策分)	0.5%
	計画の達成度	
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		

その3

5　自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況（総括）

（1）　温室効果ガスの排出の量

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位：t（二酸化炭素換算）

CO_2	CH_4	N_2O	HFC	PFC	SF_6	合計
44						44

イ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位：t（二酸化炭素換算）

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	63	44				
基準排出量比増減率		30%				

（2）　温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	○すべて完了　○一部完了　○未実施　◉計画なし

6　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する自己評価

（1）　温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等の総括

当社はH10年より工場統合計画を開始しエネルギー関係に関しても下記の取組みを進めた。

①水管ボイラー2基（１６Ｔｏｎ・１２Ｔｏｎ）を貫流ボイラー2Ｔｏｎ×8基にし燃料をＡ重油から都市ガスに変更

②製造設備内の乾燥機は主に蒸気使用をしていた、これら設備の2/3をガス及び電気使用に変更し燃料の使用を削減

③10ヶ所の休憩室を1ヶ所に集合し空調にエコアイスを導入

④上記等の合理化により1990年のエネルギー使用量原油換算で4,764ｋｉを2006年には2,091ｋｉとし56%のエネルギーを削減した。

（2）　次期計画期間における取組方針

当社は現在開発工事を進めており計画に当たり温室効果ガスの排出を抑制すべき計画に導入していく所存です。

その4

7　工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況（個表）

（1）　基本対策及び目標対策

対策No	対策の名称（建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。）	対　策レベル	追加年度	計画時の削減効果の見込量(t)	達成状況		備考
					推計実績削減量(t)	計　画達成度（%）	
1	空気調和機の更新	目標対策		15	15	100%	
2	電気加熱設備の更新	目標対策		4	4	94%	
3	適宜消灯を行う事により過剰不要な照明をなくす	基本対策（運用）		9	9	100%	
4	非稼動時のエアータンク元弁の開閉による圧縮空気量の節約	基本対策（運用）		0	0	100%	
5	蛍光灯のHf化	基本対策		3	3	100%	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

合計	31	
合計（うち目標対策分）	18	

計画削減量(t)及び計画削減率(%)	31	0.8%
目標削減量(t)及び目標削減率(%)	18	0.5%

（その5）

(2) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績
（事業所内で設備導入を行うものに限る。）

再生可能エネルギーの種類（発電）	単位	実績導入量	計画導入量	概 要 （導入時期、規模、方法等）
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

再生可能エネルギーの種類（熱利用）	単位	実績導入量	計画導入量	概 要 （導入時期、規模、方法等）
	GJ			
	GJ			
	GJ			
計	GJ			

8 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置

(1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概 要 （導入時期、規模、方法等）
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要				
テナント事業者等への還元のための措置					
廃棄物の削減		削減予定量	t	実績	t
グリーン調達					
物流の効率化					
その他、社員の通勤における削減対策等					

（その6）

9　自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進ちょく状況及び目標の達成状況等（個表）

(1)　自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策No	対策の名称	計画			達成状況		備考
		対策導入率等		削減効果の見込量(t)	導入率等	対策完了による削減効果の量(t)	
		現状	目標				

(2)　自動車等に係るその他の事項

（その7）

10　事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

事項		（達成状況）				
都内で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	㎡
	その他					
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策					
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	㎡
	その他					
上記以外で、他の事業者、消費者等の温室効果ガスの排出の抑制に寄与する取組等						